

# 南会津 のうりんニュース

第162号(平成24年9月)

## 今号の写真:頭を垂れる稲穂(南会津町伊南地区)

いよいよ、待ちに待った収穫の秋となりました。  
青々としていた田んぼも、次第に黄金色に変わり、収穫に向けた準備が着々と進んでいるようです。

## 今号の内容

- 特集 米全袋検査の実施等について
  - ・南会津地域の恵み安全対策協議会について
  - ・コメの全量全袋検査について
  - ・園芸品目等の検査について
  - ・農林水産物モニタリング検査結果書の発行について
- 今号のトピックス
  - ・「花まめパイ」新発売!
  - ・ほ場整備現地説明会開催
  - ・南会津地方育樹祭開催
  - ・あいづ“まるごと”ネット交流会開催
- 注意! ペチャ豆(ライマ豆)を販売する際の留意点について

平成24年9月15日発行 福島県南会津農林事務所

特集

## 米全袋検査の実施等について

### 南会津地域の恵み 安全対策協議会について

東京電力福島第一原子力発電所事故に伴い、当地方の農林水産物は、出荷制限や風評被害などにより深刻な影響を受けています。

このため、地域が一丸となって、販売用農産物の綿密な放射性物質検査を実施し、検査結果等を消費者の皆様へ情報提供することで、農産物の安全性の確保と消費者の信頼回復を図るために、「**南会津地域の恵み安全対策協議会**」(会長:会津みなみ農業協同組合)が今年6月11日に設置されました。

### コメの全量全袋検査について

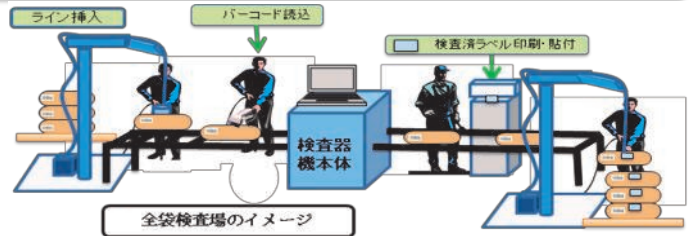
南会津地方で生産されたコメでも、風評被害により販売に苦戦を強いられることが想定されます。

そこで、消費者の皆様にも南会津地方で生産されたコメが安全であることを理解していただくため、県の管理下で「南会津地域の恵み安全対策協議会」が全てのコメについて放射性物質検査を行います。

### ● 今年収穫した全てのコメが、放射性物質検査の対象となります。

＜検査対象のコメ＞

- ①出荷するコメ
- ②自分で販売するコメ
- ③自分で食べるコメ
- ④知人へ贈るコメ
- ⑤ふるい下米



### ● 米袋の取り扱いについて

検査は、出荷する状態で行います(米袋30kg詰、玄米)。袋が破けないよう十分注意して取り扱いますが、米袋は出荷用(厚手)の新しい袋を使用してください。

農家の皆様へは収穫前に「バーコードラベル」が配布されますので、お手数でも、**全ての米袋の中心部にしっかりと貼り付けてください。**《モデルの写真と同じ向きに!》



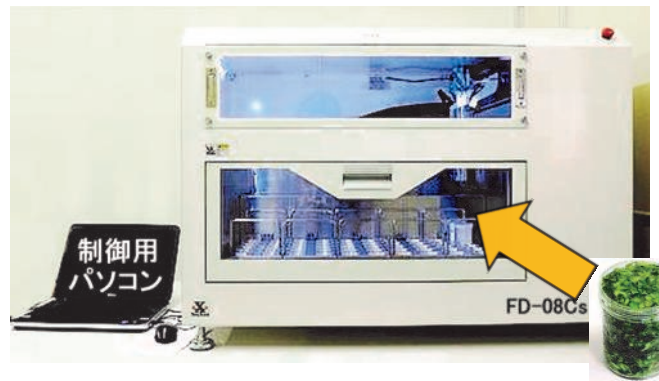
### ● 検査場所について

検査場所は、農家の皆様の居住地・出荷先により異なります。(次ページの表参照)

9月中旬には全検査場所で検査体制が整う予定で、9月18日頃から検査計画に基づいて検査を開始します。

J A、集荷業者への出荷・販売米は例年どおり出荷してください。独自販売米等の検査計画は、後日各町からお知らせします。

農家居住地		出荷先	検査場所
南会津町	田島	JA	塩江：JA倉庫
		商系集荷業者	中荒井：ユミタ運輸倉庫
	館岩伊南	JA	古町：まるやへりポート倉庫
	南郷	JA・商系集荷業者	宮床：JA農業倉庫
下郷町	JA	塩生：JA農業倉庫	
	商系集荷業者	沢田：ユミタ運輸倉庫	
只見町	JA・商系集荷業者	福井：朝日建設倉庫	



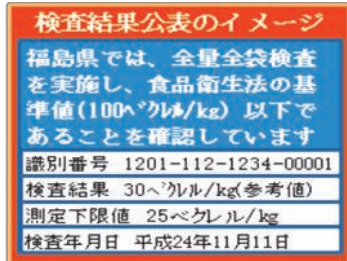
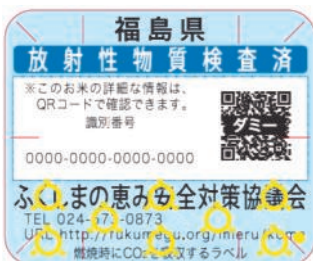
50サンプルを測定器内にセットし、自動で検査をおこないます。

## 農林水産物モニタリング 検査結果書の発行について

### ●「検査済ラベル」について

検査を行い、基準値以下だった米袋には、次の「検査済みラベル」が張り付けられます。

また、検査結果は原則として公表されます。消費者の皆様は、QRコードを読み込むことで、検査結果を知ることができます。



### ●園芸品目等の検査について

南会津地方で生産・採取された野菜やキノコの安全性を確認するために、JAや直売所等に出荷する農林産物の放射性物質検査を実施します。9月中旬から検査開始予定です。

- ◆設置場所 ① JA会津みなみ本店脇施設
- ② JA会津みなみ宮床施設

### ●検査方法について

南会津地域の恵み安全対策協議会が、JA各部会や、直売所からの検査要望を把握し、検査計画を立て、農家や直売所の方々からの申請に基づき検査を実施します。

なお、検査対象品目は、販売する野菜・果物・キノコなどで、協議会の調整のもと、JA各部会、直売所を通して、生産者の皆様から提供いただきます。

### ●検査機械について

検査に使用する測定器は、検体1点あたり100ccの試料量、約1,000秒で測定可能です。

当事務所では、今年4月より、東京電力福島第一原子力発電所事故に伴う農林水産物の風評被害払拭を目的として、県が実施している緊急時モニタリング検査の結果書を直売所等に対して発行しています。

### ●発行対象について

発行の対象となるのは、「平成24年度に南会津郡内で生産、採取または捕獲された農林水産物の緊急時モニタリング検査結果」です。（例：野菜、果実、山菜、野生きのこ等）

### ●発行内容について

希望される品目のモニタリング検査結果書をお申込みいただいた直売所等事業者の方へ発行します。

### ●申込方法について

発行を希望する場合は、電話にてお問い合わせください。

また、その他ご不明な点などがありましたら、お気軽にお問い合わせください。



## 問い合わせ先

### <南会津地域の恵み安全対策協議会について>

●南会津農林事務所農業振興普及部  
電話：0241-62-5253

●南会津農林事務所南郷普及所  
電話：0241-72-2243

### <農林水産物検査結果書の発行について>

●南会津農林事務所企画部  
電話：0241-62-5252

## 「花まめパイ」新発売！

「花まめパイ」、皆さんはもう召し上がりましたか？花まめパイは、下郷町戸赤地区の花豆をふんだんに使った南会津地方限定発売の焼菓子です。

7月7日、道の駅しもごうにおいて、戸赤地区の花豆生産者や製造業者など開発に関わった方々が集まり、テレビ局や新聞社の取材を受ける中でお披露目が



「花まめパイ」が店頭に並びます！

行われ、販売が開始されました。

花まめパイの主原料である花豆を生産している戸赤地区は、戸赤村づくり実行委員会を中心に長年、地域おこしに取り組んでおり、山桜の里として広く知られてきましたが、数年前から花豆の生産とそれを使ったスイーツの開発に力を入れてきました。花まめパイ以外にも複数の試作品を作り、外部の専門家の意見を聞き、物産展でのテスト販売を行うなど商品開発のステップを踏みながら試作品の絞り込みと磨き上げを続け、今回の商品化を実現しました。

花豆は、標高が高く冷涼な気候を好む作物で下郷町の山間に位置する戸赤地区に適した作物ですが、それだけで特産品の開発はできるものではありません。土地にあった作物づくりは全国どこにでもあります。今回の商品開発は、人口が減り高齢化が進行する中でも地域としてまとめ、花豆の生産を熱心に続けた戸赤地区の人たちや、その熱意に応えるように餡を練り、パイ生地を焼き上げた加工業者など、開発に関わった方々の努力の賜物です。そんな想いが込められた、外はふわふわサクサク、中はしっとりの「花まめパイ」!! ぜひご賞味ください。(企画部)

## ほ場整備現地説明会開催

下郷町大字豊成地内の倉檜地区では、平成20年度から経営体育成基盤整備事業を実施しています。

本年度は主に4.4haにわたる畑地の区画整理を実施していますが、当地域は小石の多い土壌であるため、従来から表土の確保が課題となっていました。

そこで、工事が本格化するのを前に、受益者の皆様にもあらためて地区の現状を認識いただくとともに、課題の解消に向けた工事内容について理解・協力を求めることを目的とした現地説明会を去る7月3日に開催しました。

予めバックホウで試掘しておいた数カ所の畑を順次見学したところ、「表土がこれしかないのか！」等、永年営農を続けてきた受益者の方々からも驚きの声が聞かれました。

そのため、耕土を地区内から捻出することが到底困難であり、地区外から搬入せざるを得ないことについて皆さん納得されました。

また、意見交換により、搬入予定の耕土と現況表土をブレンドしたほ場を試験的に地区内に設置したうえで、その状況を確認していただき、来年の作付計画（作物選定）の参考にしてもらうことにしました。

受益者の皆様には暑い中、足を運んでいただきましたが、熱心に意見を交わされ、工事の内容について理解を深めていただけたようです。



担当職員の説明に聞き入る受益者の方々

本地区の区画整理は本年度で終わりですが、引き続き受益者の皆様と対話を重ねながら補完工事の取組みにより、より良いほ場の完成を目指して参ります。(農村整備部)

## 南会津地方育樹祭開催

6月28日(木)、田島高校前駅周辺において、南会津町、南会津町緑化推進委員会、南会津地方緑化推進委員会の主催による「南会津地方育樹祭」が開催され、田島第二小学校緑の少年団や田島高校生、田部原地区住民など約100名が参加しました。

式典では、田部原第一区が緑化功労者として表彰されるとともに、平成13年度から毎年南会津産木製玩具類の売上金の一部を南会津地方緑化推進委員会へ寄付されている株式会社高島屋様へ感謝状が贈呈されました。

南会津地方植樹祭は、戦後の国土緑化を目的として昭和26年度から開催されてきましたが、今年度初めて「育樹祭」としての開催となりました。

式典の後、平成22年度に地区住民が植栽した箇所への補植や支柱の撤去、「きずな」「き

ぼう」の文字をかたどったサツキツツジの植樹を行いました。



左が「きぼう」、右が「きすな」

この育樹祭は、県民参加による森林づくりの推進を目的に「緑の募金」や県の補助金が充てられています。

参加者一人ひとりの手によって植えられた苗木は、やがて大きく育ち花を咲かせ、地域の美しい緑を創出してくれることでしょう。

(森林林業部)

### あいづ“まるごと”ネット交流会開催

地域産業6次化の地域ネットワークである「あいづ“まるごと”ネット」の第2回交流会を8月3日に開催しました。

今年度の交流会のテーマは、「売れる商品づくり、販路拡大」であり、その勉強の機会として「アグリフードEXPO2012」と福島県首都圏アンテナショップ「ふくしま市場」の視察研修を行い、会員31名が参加しました。

アグリフードEXPOは、600社を超える農業経営者や食品企業の、約3,000品目を超える商品が集まる国内最大級の農業・食品産業関係の展示商談会です。

参加者は、自分と同じ分野の商品の調査や今年のトレンドのチェック、あるいは事前に勉強してきた出展の



商品販売のヒントを探す参加者

ポイントの確認などのため各ブースを熱心に回っていました。

一方、ふくしま市場では、櫻田店長から売れ筋商品など販売状況の説明や、「風評被害でも売れない訳ではなく、売れないことを風評のせいにはしてはいけない。」といった商品販売のアドバイスをいただきました。

また、店舗における福島県産品の販売のされ方や県内他地域の6次化商品などを実際に手に取って量や価格、パッケージデザインなどを確かめていました。

各参加者は今後、各種商談会への出展などを計画していますが、今回の視察研修で学んだことがそれぞれの商談で生かされ、商品の改良や開発、さらには販路の拡大に結び付けていくことが期待されます。(企画部)

### 注意 ペチャ豆(ライマ豆)を販売する際の留意点について

ペチャ豆(ライマ豆)と花豆を混同して販売する事例が発生しています。



花豆

ペチャ豆(ライマ豆)

**ペチャ豆(ライマ豆)には、高濃度のシアン化合物が含まれている場合があります、自主検査により、シアン化合物が検出されないことを確認したものしか生豆として販売することができません。**

また、ペチャ豆(ライマ豆)は花豆と比べて、厚みが薄く、花豆にはない放射状の筋があること、模様も異なっていることなどが主な相違点です。

詳しくは、南会津農林事務所農業振興普及部までお問い合わせください。

#### <問い合わせ先>

南会津農林事務所農業振興普及部  
電話：0241-62-5264

#### お問い合わせはこちら

福島県南会津農林事務所 企画部 地域農林企画課  
〒967-0004 福島県南会津郡南会津町田島字根小屋甲4277-1  
ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/norin-minamiaidu/>  
電話 0241-62-5252 FAX 0241-62-5256



みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。